

令和8年度 基山中学校の生活（身だしなみ）

年 組 号 名前

基山中学校生活規定に基づき、よりよい学校生活を送るために以下の生活の心得を心がけましょう。

1 制服

(1) 男女問わずスラックスかスカートを選択します。

- ・スラックスはすそが床につかないようにウエストの位置ではき、ベルトを着用しましょう。ベルトは黒色で無地のものを着用し、編みベルトやバックルが大きいベルトは着用しないようにしましょう。
- ・スカートの丈はひざがかくれる長さにしましょう。

(2) ブレザーは、ボタン位置を左右両方の前身頃に付け替えができる男女共用タイプです。

- ・ジャケットの下には、指定のポロシャツを着用しましょう。
- ・冬服（ブレザー）には、男女問わずネクタイかリボンを選択し着用します。
- ・ベストについては、Vネックのニットベストを着用できます。色は黒・紺の単色無地で、ワンポイントや柄が入っていないものを着用しましょう。
- ・ブレザーのインナーとして、Vネックの袖有りニットを着用できます。色は黒・紺の単色無地のものを着用しましょう。

2 アンダーシャツ（制服の下に着るもの）

夏服・冬服ともに、単色で落ち着いた色（白・黒・灰・紺など）を着ましょう。

- ・制服のそでやすそから、はみ出さないようにしましょう。
- ・ハイネックやタートルネック、フード付きのものは着ないようにしましょう。

3 靴下

主たる部分が白、黒、灰、紺の単色であるものを履きましょう。

- ・レースやフリル付き、大きなロゴやマークのものは履かないようにしましょう。
- ・くるぶしが隠れる長さのものを履きましょう。

4 頭髪

- ・清潔で活動しやすい髪型をし、特異な髪型はしないようにしましょう。
- ・前髪は目に、後ろ髪は襟にかからないようにしましょう。それ以上伸ばす場合は結びましょう。
- ・結ぶときは一つ結び、二つ結び、三つ編みとし、その位置は耳の上の線より下で結びましょう。
- ・おじぎをして顔をあげた後、目が見えるようにしておきましょう。
- ・ヘアピン(黒)やカッチン止め(3cm～6cm程度)を使う場合は、目が隠れないようにしましょう。
- ・ゴムは、黒・紺・茶色のものを使用しましょう。
- ・ドライヤー、ヘアアイロン等を使って変わった髪形にしないようにしましょう。
- ・染色や脱色、整髪料の使用、パーマなどの加工をしないようにしましょう。
- ・縮毛矯正をかけるときは、保護者から担任に申し出、学校長の許可を得るようにしましょう。

※特異な髪型とは（具体的な例）

- ・左右非対称に髪を切る。
- ・他の部分と比べ一部のみ刈り上げることや伸ばすこと。
（ラインを入れる、襟足だけを伸ばす、前髪の一部を伸ばす等）

5 眉・装飾品

- ・眉そりや化粧はしないようにしましょう。
- ・ネックレスやイヤリング、ピアスなどの装飾品は身に着けないようにしましょう。

6 名札

学年ごとに指定された色の線が入った取り外し式ネームプレートを付けましょう。

- ・学校内でのみ使用し、登下校時は取り外しましょう。
- ・男女とも胸ポケットの口布につけましょう。

7 通学靴

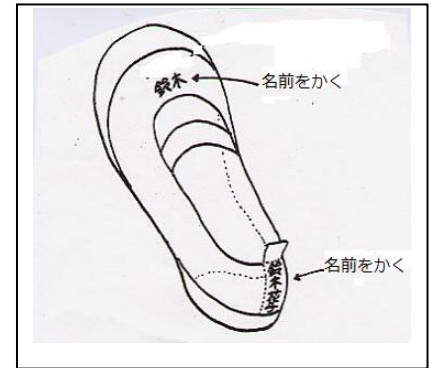
白の単色、黒の単色、もしくは白・黒配色の運動靴を履きましょう。

- ・外での活動時に履けるものを使用しましょう。
- ・白・黒以外の色が入っているもの、ハイカットのシューズ等は履かないようにしましょう。

8 上履き

学年ごとに指定された上履きを履きましょう。

令和8年度は1年生…緑色、2年生…黄色、3年生…青色
上履きには右の図のように、2か所に名前を書きましょう。



9 体育関係

- (1) 指定のシャツ、ハーフパンツ、トレーナー、ジャージ
 - ・活動中、休み時間に限らず正しい着こなしをしましょう。
- (2) 指定の体育館シューズ、帽子
 - ・活動場所に依じて正しく使用しましょう。

10 防寒具

- (1) 指定のウインドブレーカー
 - ・寒い時の登下校時に着用しましょう。
- (2) 手袋、マフラー、ネックウォーマー
 - ・色は落ち着いたもの（白・黒・灰・紺・茶など）を使用しましょう。
 - ・登下校時のみ使用し、教室に入った後はすぐに外しましょう。
 - ・安全上、長いマフラーは衣類の中に入れて着用しましょう。
 - ・ニット帽の着用はしないようにしましょう。
- (3) カイロ類
 - ・マナーを守って使用しましょう。学校のゴミ箱に捨てず、自宅で処分しましょう。
- (4) タイツ
 - ・オークル・黒・紺色とし、柄がついたものは着用しないようにしましょう。
- (5) 膝掛け
 - ・使用する場合は、無地やチェック柄で落ち着いた色（白・黒・灰・紺・茶など）のものを使用しましょう。
 - ・教室(移動教室を含む)でのみ使用しましょう。

11 通学カバン

- (1) 学校指定スクールバッグ、セカンドバッグ
 - ・スクールバッグは両手に通して背負いましょう。
 - ・セカンドバッグのみやその他のバッグのみでは登校しないようにしましょう。
 - ・バッグの取り違いを防ぐためにキーホルダー等の目印をつける場合は、卓球ボール程度の大きさのものを1個だけにしましょう。

12 その他

- ・爪は、衛生面や安全面を踏まえて適切な長さにしなす。
- ・胸ポケットにはヘアピンや櫛、筆記用具などは入れないようにしなす。

13 異装許可

- ・特別な事情がある場合は、異装許可申請書を提出しなす。

令和8年4月1日